

# 父母連ニュース

草加市保育園父母会連合会 機関紙

2008年度 第5号/2008年12月13日発行

発行責任者

阿部 927-2356 ・ 中島 932-3447

表面：市長懇談会報告（事務局記録より）

裏面：広報より抜粋・草加市小児・救急医療問題懇話会報告・「給食だ～いすきまつり」報告



## 11月23日に父母連役員・各園会長・各園役員等との 「市長懇談会」がもたれました

11月23日(日)15:00～16:30、草加市役所西棟5階会議室にて、父母連役員と各園会長・代表者等との市長懇談会がもたれました。お忙しい中、草加市からは、木下市長・上村室長（いきいき市民相談）・井上部長（こども未来部）・大沢課長（保育課）・保育課から2名の7名、父母連からは、父母連事務局員や各園の会長・代表者さんなど総勢55名が参加しました。短い時間でしたが、これまで代表者会等で意見交換を重ねてきた事項について市長さんのお考えや、草加市の今後の保育についてお聞きしましたので、事務局の記録からご紹介します。要望書は別紙ご参照ください。市からの正式な回答については、回答書をいただき次第、あたらためてご報告します！

### 【0歳児保育について・さかえの21年度の0歳児保育の継続と22年度以降の存続のお願いについて】

\*さかえ保育園父母会では、臨時総会を開き、要望書の署名活動を行い、246枚1180名の署名を提出し、懇談会に臨みました。（要望書は別紙にて）

（市長）0歳児保育については限られた財源で考えると家庭保育室への移行がベストと考えます。家庭保育室と園が近い所にあるように開設していきたいし、それができない場合は、0歳児クラスの廃止はありえないです。21年度さかえ保育園の0歳児クラス廃止については、現在の状況では（ハッピー家庭保育がなくなったことも含め）難しいと考えます。が、22年度の存続については約束できません。

### 【家庭保育室の充実については？】

（市長）家庭保育室のことで一番困るのは病気になること、消防・救急と連携してバックアップできないか考えています。公立園との連携も深めていきたいです。営利企業が入らないよう、良心的な思いのある方々に家庭保育室を運営してもらえよう、要綱を考えていきたいと検討しています。

### 【あずま保育園新園舎4月 6月開園延期については？】

（市長）工期が3月31日までのため、延期ではなく順当な6月開園です。4月の時点で1歳児クラスはないですが（あずま保育園父母会の要望を受け）4月からの募集と同じ扱いで、6月入園前提で1歳児募集をすることにします。4月～6月のつなぎについても考えていきたいです。

### 【保育料引き下げ希望がアンケート1位でしたが・・・？】

（市長）保育料の仕組みの資料は用意したいと思います。足立区（東京都23区）と比べると、財源が違うため比較するとどうしても保育料が高くなってしまふことはご了承下さい。

### 【病児・病後児保育を新支援センターにはおくのですか？】

（市長）今年度から始まったファミリーサポートでの病児・病後児保育のサービスについて、もっと知ってもらおうHPにものせます。施設型のものも、新さかえ支援センター内に設置することを前向きに検討中です。

### 【完全給食については？】

（市長）実施は難しいですが、みなさんの気持ちはわかります。21年度の完全給食は考えていません。

### 【育成保育については？】

（市長）10月の更新は入園できるかの判断ではなく、「育成」か「通常クラス」かというものです。育成のお子さんを持つ保護者の方が療育の都合でフルタイム勤務でない方が多いことについては、（保育に欠ける）入園基準を見直していきたいと思います。

### 【保育園の外部委託については？】

（市長）民間委託・指定者管理にすることは考えていません。大切なことはいい質の保育が民でも官でも守られていくことだと思います。公立保育園をわざわざ認定保育園にする必要性は感じていませんし、私としては公立がよいと思います。適切なコストでよい保育を守っていきたく考えています。

以上のようなやりとりが交わされました。市長さんも私たち父母の話をよく聞いて下さり、また「言ってもらわないと気付かないこともあります。よい案があれば、またご意見を下さい。」とおっしゃって下さいました。

今後は0歳児保育家庭保育室移行に関するアンケートを2月に実施し、よりよい0歳児保育についてみなさんで考えていきましょう。

[ 草加市認可保育園一覧 ]

「市長懇談会」で話し合われた「21年度さかえ保育園 0歳児クラスの継続」と「あずま保育園 1歳児クラスの募集」について、12月5日付の広報そうかに掲載されました。掲載内容をお知らせします。

\*あずま保育園 1歳児クラスに申し込まれる方の4~6月の保育については、保育課で一度相談されることをおすすめします。

公	たかさご	1歳	922-2644
公	きたうら保育園	56日	946-6006
公	あずま保育園	1歳	922-1932
公	やつか保育園	1歳	925-5974
公	さかえ保育園 1・2	6か月	942-0901
公	きたや保育園	1歳	942-2354
公	しのは保育園	6か月	931-5150
公	あさひ保育園 2	6か月	941-2525
公	やなぎしま保育園	1歳	927-1482
公	にちまち保育園 2	6か月	927-0676
公	せざき保育園	6か月	924-9736
公	しんぜん保育園	6か月	941-5929
公	しんえい保育園	6か月	941-5887
公	やはた保育園	6か月	936-9670
公	こやま保育園	6か月	941-9400
公	ひかわ保育園	6か月	927-6855

公	あおやぎ保育園	6か月	936-6866
公	やつかかみ保育園	6か月	925-1252
公	やはた保育園分園	1歳	936-5828
公	第2きたうら保育園	3歳	942-2643
私	ひかり幼稚園	6か月	935-8787
私	ハッピーナーサリー	56日	921-0094
私	かおりPutura保育園	6か月	951-3072
私	(仮)優優保育園	56日	920-3020

1 さかえ保育園は平成 21 年度に建替工事を行う予定  
 2 さかえ・あさひ・にしまち保育園は、平成 22 年度から 0 歳児保育を家庭保育室や民間認可保育所に移行する予定  
 あずま保育園の 1 歳児保育は新園舎が完成する 6 月からになります (6 月入園児の申し込みも今回受け付けます)

「草加市小児・救急医療問題懇話会報告」

10月8日から月平均2回、都合5回にわたって「草加市小児・救急医療問題懇話会」が組織され、草加市長からの委嘱を受ける形で、父母連事務局から高山副会長が委員として参加しました。この会は草加市の医療環境、とりわけ喫緊の課題である「小児・救急医療問題」に関する議論を深め、今後の医療環境の整備について一定の方向を出そうと趣旨で組織されたものです。委員は父母連以外には草加市 PTA 連合会、草加青年会議所、草加八潮医師会、草加歯科医師会、草加市薬剤師会の各団体からの代表者、また草加市立病院長および副院長、草加市健康福祉部長および健康づくり課長からなり、各種資料の検討や先進的な取り組みを行っている他自治体への視察調査、また多角的な視点からの積極的な議論が行われました。父母連としては小児救急医療の利用者としての立場から、より安心して利用できるためにどのような医療環境が望まれるかということとともに、利用する側の利用手順やマナーについても理解・啓発の必要性を発言してきました。

今回、全5回の懇話会が終了し、草加市長への提言として3点が取りまとめられました。

草加市立病院敷地内に小児医療に特化した夜間救急診療所の設置を目指す  
 草加市立病院勤務医師の負担が軽減されるような仕組みを検討する  
 市民に向けた救急医療利用に関する啓発活動を展開していく

については、すぐの実現は難しいですが数年かけて議会での審議を経て実現に向けて動き出すことが期待されます。

については、全国平均と比べても非常に苛酷な労働条件にある市立病院小児科の勤務医師の負担軽減を図り、小児医療崩壊を未然に防ごうという提言です。夜間救急診療所を草加八潮医師会の先生方が中心になって運営することで改善が図られることを目指しています。

については、一次救急医療(比較的軽症な場合)と二次救急医療(早急な対応を要する場合)といった市民にとってはわかりにくい症状の違いによる医療機関の選択方法や、現在の症状から早急な対応が必要なのか否か等の利用手順やマナーについての情報を発信することで、円滑な医療機関の利用を目指すものです。

これらの議論を経て、今後の草加市をとりまく小児救急医療がより安心して利用できるものとなるよう期待しています。

「給食だ~いすきまつり」に参加して

11月29日(土)10時~15時、谷塚小体育館にて「給食だ~いすきまつり」が行なわれました。あおやぎ保育園父母や父母連役員が、お手伝いとして参加しました。

食に関するクイズラリーや、七輪での手焼き煎餅コーナー、300円で食べられる給食試食コーナーなどは大盛況!試食用の給食はとてもおいしかったです。調理師さんからレシピを教えていただきましたので、是非作ってみたいと思いました。昨年度の「子育てのつどい」で父母連事務局が提起しました食の問題…遺伝子組み換え物質の他、食品添加物、食習慣の問題と小児成人病や育ちのこと、地産地食などに関しても、今回のようなイベントで、地域や一人ひとりの意識も変わってくると思います。今、草加市立中学校の調理業務は民間委託されていますが、小学校や公立保育園の民間委託はされていません。栄養士・調理師・市民が一体となった今回のイベントを通して、「子どもたちのために草加のおいしい給食を守っていきたい」という思いを、より一層強くしました。

<学童保育の会「発達保障プロジェクト(PJ)保護者交流会」に参加して>

11月30日(日)13:30~清門児童クラブにて「発達の気になる子の保護者交流会」が行われ、父母連代表として参加しました。昨年度より父母連で実施している「育成保育保護者交流会」で、“就学に関する情報が欲しい!”とのご意見が複数ありましたので、今回はじめて学童保育の会から交流会のお誘いをいただき、実現したものです。学童発達保障P」の皆さんに、心より感謝したいと思います。

まず先輩のお母さん方から、学校の選び方を含めた入学までの体験談や現在の学校や学童での様子についてのお話を伺い、次に学童指導員の先生方から、学童で留意していることや発達障がいのある子の理解と接し方についてのお話を伺いました。また、通常学級や特別支援学級に在籍している発達障がいのある子どもたちにとって、学童が「安心の場・心の開放の場」であることの大切さについても知りました。その後の質疑・応答では、“働いているのに何年も育成卒での保育園入園ができず、他の通園施設にも入れなかった期間があり、不安だった。”“療育や就学に関して必要とされる情報は、個々によって多様であるが、なかなかそういった情報が入手できない。”“子どもに合った環境が用意してあげられない”などの話も出され、療育機関の少ない草加市における共通の問題として考えさせられました。父母連としても検討していきたいと思います。最後に、学童保育の会に協力していただきながら、今後もこのような機会を設けていくことを確認し合いましたので、是非多くの皆さまのご参加をお待ちしています!